

こだわりの花壇 審査

花いっぱいコンクール



コンクールの審査を受けた花壇＝能美市福島町の一本松きらく園で

県内の花壇を対象とした「花いっぱいコンクール」（北陸中日新聞後援）の現地審査が20日、県内12カ所であった。個人や団体などが丹精して育てた花壇が、迫力、工夫など四つの観点から評価された。

能美市福島町の一本松きらく園では、管理している「福島町きらく会」が約500平方メートルの花壇で約3千株のポーチュラカやバーベナ、マリーゴールドなど15品種の花や木を育てている。

種から苗を育て、温度管理や土作りに力を入れた。花の配色やベンチの配置にもこだわった。会長の山本憲さん(77)は「気楽にくつろいで癒やしになれば」と話している。

コンクールは8部門で計36の花壇を審査。特に優秀な花壇には最優秀賞が授与される。表彰式は12月24日、県立図書館で開かれる。

(井口愛梨)